

第6章 36問 名前 _____

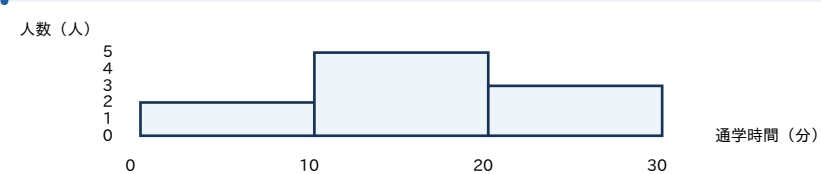
A 代表値 | 求め方を使い分けよう

① 2、4、9（冊）の平均値。	② 8、2、5（冊）の中央値。
③ 1、3、3、5（冊）の最頻値。	④ 1、2、5、8（冊）の中央値。
⑤ 4人の平均が6冊。合計は何冊？	⑥ 1、2、2、3、12（冊）。平均値と中央値を求めよう。

B 度数分布表 | 境目に注意

通学時間（分）	0以上10未満	10以上20未満	20以上30未満
度数（人）	4	9	7
⑦ 人数の合計を求めよう。	⑧ 通学時間10分が入る階級は？		
⑨ 通学時間20分が入る階級は？	⑩ 最も人数が多い階級は？		
⑪ 20分未満の人数は？	⑫ 10分以上の人数は？		

C ヒストグラム | 階級の幅はすべて同じ



⑬ 0分以上10分未満の人数は？	⑭ 10分以上20分未満の人数は？
⑮ 人数の合計は？	⑯ 最も人数が多い階級は？
⑰ 20分以上の人数は？	⑰ 10分未満の相対度数は？

D 累積度数 | 小さい階級から足す

時間（分）	0以上10未満	10以上20未満	20以上30未満
度数（人）	3	7	10
累積度数（人）	ア	イ	ウ
⑲ アの累積度数は？	⑳ イの累積度数は？		
㉑ ウの累積度数は？	㉒ 20分未満の人数は？		
㉓ 10分以上30分未満の人数は？	㉔ 短い順で11番目の人が入る階級は？		

E 相対度数 | 割合で比べる

㉕ 合計20人のうち6人。相対度数は？	㉖ 合計50人のうち15人。相対度数は？
㉗ 合計40人、相対度数0.2。度数は何人？	㉘ 相対度数0.35を百分率で表そう。
㉙ 3階級の相対度数が0.2、0.5、□。□は？	㉚ ある階級の度数8人、相対度数0.25。合計は何人？

F 多数回の試行と確率

投げた回数	20	100	1000
表の回数	12	54	503
⑳ 表の20回の実験で、表の相対度数は？	㉑ 表の100回の実験で、表の相対度数は？		
㉓ 表の1000回の実験で、表の相対度数は？	㉔ 表から、表が出る確率はどのくらいと考えられる？		
㉕ 「次の1000回では必ず表が500回出る」は正しい？理由も。	㉖ 画びょうを200回投げ、上向きが74回。上向きの確率を実験結果から推定しよう。		



A 代表値

- ① $(2+4+9) \div 3 = 15 \div 3 = 5$ (冊)
- ② 小さい順 : 2、5、8。中央は5冊。
- ③ 3が2回で最も多い。答え : 3冊。
- ④ 中央2つは2と5。
 $(2+5) \div 2 = 3.5$ (冊)
- ⑤ $6 \times 4 = 24$ (冊)
- ⑥ 合計20、個数5。平均値 $= 20 \div 5 = 4$ (冊)。
中央は3番目。中央値 = 2冊。

B 度数分布表

- ⑦ $4+9+7=20$ (人)
- ⑧ 10分以上20分未満。
- ⑨ 20分以上30分未満。
- ⑩ 度数9の階級。10分以上20分未満。
- ⑪ $4+9=13$ (人)
- ⑫ $9+7=16$ (人)

C ヒストグラム

- ⑬ 棒の高さを読む。答え : 2人。
- ⑭ 棒の高さを読む。答え : 5人。
- ⑮ $2+5+3=10$ (人)
- ⑯ 最も高い棒は度数5。
10分以上20分未満。
- ⑰ 20分以上30分未満の3人。
- ⑱ $2 \div (2+5+3) = 2 \div 10 = 0.2$

D 累積度数

- ⑲ 最初の度数と同じ。3人。
- ⑳ $3+7=10$ (人)
- ㉑ $10+10=20$ (人)
- ㉒ イの累積度数より10人。
- ㉓ $20-3=17$ (人)
- ㉔ 20分未満が10人。11番目は20分以上30分未満。

E 相対度数

- ㉕ $6 \div 20 = 0.3$
- ㉖ $15 \div 50 = 0.3$
- ㉗ $40 \times 0.2 = 8$ (人)
- ㉘ $0.35 \times 100 = 35\%$
- ㉙ $1 - (0.2 + 0.5) = 1 - 0.7 = 0.3$
- ㉚ 合計 $\times 0.25 = 8$
合計 $= 8 \div 0.25 = 32$ (人)

F 多数回の試行と確率

- ㉛ $12 \div 20 = 0.6$
- ㉜ $54 \div 100 = 0.54$
- ㉝ $503 \div 1000 = 0.503$
- ㉞ 相対度数が0.5に近いので、約0.5と考える。
- ㉟ 正しくない。確率が約0.5でも、実際の回数にはばらつきがある。
- ㊱ $74 \div 200 = 0.37$ 。
確率は約0.37と推定する。